

ドル円、121 円台前半まで上昇

GLOBAL MARKETS RESEARCH

アナリスト 平松 誠基

三菱 UFJ 銀行

A member of MUFG, a global financial group

令和 4(2022)年 3 月 24 日

前営業日の市況

ドル円は前日のドル高円安の流れを受けて東京市場の寄り付き前の朝方、2016 年 2 月以来となる高値 121.41 まで上昇した後、121.34 で寄り付いた。その後は 121 円絡みで上値重く推移したが、欧州時間に欧州株の下落や米金利の低下を受け、安値 120.60 まで下落。しかし同水準では下値も堅く、24 日の NATO 首脳会議を経てバイデン米大統領が新たな対ロシア経済制裁を発表するとの懸念から、リスク回避的な動きが強まりドルが買われた。一方、追加制裁への警戒感から原油価格が上昇したことで円売りが強まり、ドル円は再び 121 円台を回復。121.16 で引けた。

本日のポイント

ドル円は直近高値を更新し、121 円台での推移が続く。背景には、先週の日米金融政策会合を経て日米金利差が改めて材料視されていることが挙げられる。本日の EU、NATO、G7 の各首脳会議を控え、引き続きドル買いが強まりやすい。一方の円は、原油価格の上昇により、売り圧力がかかろう。もっとも、ドル円の相対力指数 (RSI) は買われすぎを示す 70 を超えるなど、市場の過熱感は否めない。また本日は欧米で 3 月の PMI も公表される。景況感の悪化が確認されれば、ドル円の重石となろう。(平松)

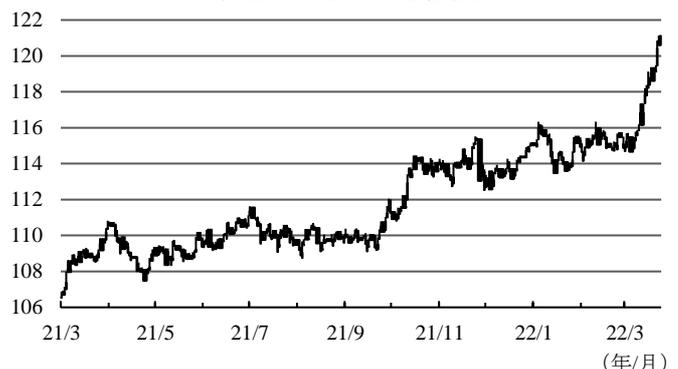
本日のディーラー予想

| ドル円 | ユーロドル | ユーロ円 |
|---------------|---------------|---------------|
| 120.60~121.60 | 1.0960~1.1060 | 132.70~133.90 |

前営業日のドル円相場推移



直近1年のドル円相場推移



(出所) グラフは Bloomberg EBS、文中の為替データは弊行 4 本値

市況データ

| | OPEN | HIGH | LOW | CLOSE |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 121.34 | 121.34 | 120.60 | 121.16 |
| EUR/USD | 1.1028 | 1.1040 | 1.0964 | 1.1001 |
| EUR/JPY | 133.81 | 133.81 | 132.37 | 133.32 |
| GBP/USD | 1.3272 | 1.3299 | 1.3175 | 1.3205 |

| | 終値 | (前日比) |
|------------|-----------|----------|
| 日経平均 | 28,040.16 | + 816.05 |
| ユーロストック 50 | 3,869.22 | - 56.90 |
| FTSE100 | 7,460.63 | - 16.09 |
| ダウ工業 | 34,358.50 | - 448.96 |
| ナスダック | 13,922.60 | - 186.22 |
| 上海総合指数 | 3,271.03 | + 11.17 |
| CRB 商品指数 | 306.32 | + 7.22 |
| WTI 原油先物 | 114.93 | + 5.66 |
| 金先物 | 1,942.60 | + 15.90 |
| VIX 指数 | 23.57 | + 0.63 |

※OPENは日本時間午前9時、CLOSEは日本時間翌日午前7時。
(米国夏時間は日本時間翌日午前6時)

前営業日の主な経済指標等

| 時刻 | 地域 | 経済指標 | 予想 | 結果 |
|-------|----|-----------------|-------|-------|
| 23:00 | 米 | 新築住宅販売件数(2月・万件) | 81.0 | 77.2 |
| 0:00 | ユ | 消費者信頼感指数(3月速報) | ▲12.9 | ▲18.7 |
| | | | | |
| | | | | |

| 時刻 | 地域 | イベント |
|-------|----|---------------------|
| 21:00 | 英 | イングランド銀行ペイリー総裁講演 |
| 21:00 | 米 | パウエルFRB議長討論会 |
| 21:00 | ユ | ドイツ連銀ナーゲル総裁講演 |
| 0:30 | ユ | イタリア中銀ビスコ総裁講演 |
| 0:45 | 米 | サンフランシスコ連銀デイリー総裁討論会 |
| 4:00 | 米 | セントルイス連銀ブラード総裁討論会 |
| | | |
| | | |

※時刻は東京時間、市場予想はBloomberg調査中央値

| | 2年 | (前日比) | 10年 | (前日比) |
|------|---------|---------|--------|---------|
| 日本国債 | -0.022% | -0.004% | 0.226% | 0.009% |
| 独国債 | -0.253% | -0.018% | 0.466% | -0.039% |
| 米国債 | 2.099% | -0.068% | 2.294% | -0.090% |
| 英国債 | 1.350% | -0.065% | 1.627% | -0.081% |

| | 終値 | (前日比) |
|------------------|-----------|------------|
| 無担保コールO/N | -0.006% | - 0.001% |
| ユーロ円金利先物 | 100.045 p | + 0.000 p |
| TONA 複利(後決め)6ヵ月 | -0.02336% | + 0.00000% |
| 円-TIBOR6ヵ月 | 0.13636% | + 0.00000% |
| 米国FF Rate | 0.33% | + 0.00% |
| 米国TB3ヵ月 | 0.4441% | - 0.0228% |
| USD-LIBOR6ヵ月 | 1.38971% | + 0.00514% |
| EURIBOR6ヵ月 | -0.39200% | + 0.00100% |
| SONIA 複利(後決め)6ヵ月 | 0.20100% | + 0.00350% |

※「米国FF Rate」のみ as of 3月22日、「TONA 複利(後決め)6ヵ月」は as of 2021年9月23日、「SONIA 複利(後決め)6ヵ月」は as of 同年9月27日

(出所)為替のデータは弊行4本値、その他のデータはBloomberg

本日の主な経済指標等

| 時刻 | 地域 | 経済指標 | 予想 | 前回 |
|-------|----|---------------------|--------|--------|
| 18:00 | ユ | 製造業PMI(3月速報) | 56.0 | 58.2 |
| 18:00 | ユ | サービス業PMI(3月速報) | 54.3 | 55.5 |
| 21:30 | 米 | 耐久財受注(前月比、2月速報) | ▲0.6% | 1.6% |
| 21:30 | 米 | 経常収支(4Q・億ドル) | ▲2,180 | ▲2,148 |
| 21:30 | 米 | 新規失業保険申請件数(3/19・万件) | 21.0 | 21.4 |

| 時刻 | 地域 | イベント |
|-------|----|---------------------------|
| | ユ | EU首脳会議(~25日) |
| | - | G7首脳会議 |
| | - | NATO首脳会議 |
| 8:50 | 日 | 日銀金融政策決定会合議事要旨(1/17, 18分) |
| 21:30 | 米 | ミネアポリス連銀カシュカリ総裁討論会 |
| 22:10 | 米 | ウォラールFRB理事討論会 |
| 22:50 | 米 | シカゴ連銀エバンス総裁討論会 |
| 0:00 | 米 | アトランタ連銀ボスティック総裁討論会 |

照会先：三菱UFJ銀行 グローバルマーケットリサーチ シニアアナリスト 亀井 純野

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。

当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。

また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。

当行は、当資料において言及されている会社と関係を有し、又はかかる会社に対して金融サービスを提供している可能性があります。当行のグループ会社は、当資料において言及されている証券又はこれに関連する証券について権利を有し、又はこれらの証券の引受けを行っている可能性があります。また、これらの証券又はそのポジションを保有している可能性があります。

当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。

(株式会社三菱UFJ銀行ロンドン支店のみに適用される情報開示)

株式会社三菱UFJ銀行(以下「MUFG Bank」)は、日本で設立され、東京法務局(会社法人等番号0100-01-008846)において登記された有限責任の株式会社です。

MUFG Bankの本店は、東京都千代田区丸の内二丁目7番1号(郵便番号100-8388)に所在しています。

MUFG Bank ロンドン支店は、英国会社登録所において、英国支店として登録されています(登録番号BR002013)。

MUFG Bankは、日本の金融庁によって認可及び規制されています。MUFG Bank ロンドン支店は、英国ブルーデンス規制機構より認可を受けており(FCA/PRA 番号139189)、英国金融行為監督機構の規制とブルーデンス規制機構の限定された規制の対象となっています。英国ブルーデンス規制機構によるMUFG Bank ロンドン支店の規制の範囲の詳細は、ご請求いただいた方にお渡ししております。